



スポーツ雪かき選手権の練習を兼ね、雪かきをする大学生の皆さん。体全体を使って雪をすくい投げ、笑顔で取り組んでいました。

※本誌に掲載している写真は、撮影時のみマスクを外しています。

- 02 今年も灯(とも)る 第23回小樽雪あかりの路
- 04 「小樽港長期構想」を策定しました
- 06 「小樽市雪対策基本計画」を策定しました
- 08 市民税・道民税の改正点についてのお知らせ

- 09 まちの写真館スマイル
- 10 情報パレット
- 20 見つけた！小樽！「うだつ」



うだつ

市内各所の歴史的建造物には、「うだつ」と呼ばれる防火壁がつけられているものがあります。うだつとは、隣家との境に張り出して設けられた高い袖壁のことで、火災による類焼を防ぐために造られました。江戸時代中期ごろからは装飾的な意味合いが増して財力を誇示するために用いられ、ここから「うだつが上がらない」という慣用句が生まれたとも言われています。

この建築文化は、火災の多かった小樽の歴史や当時の小樽商人の勢いを物語っています。市内を散策する際、注目してみてもいいかもしれません。

広報おたる(毎月1日発行)

発行・編集／小樽市総務部広報広聴課

☎04111内線223・224、FAX04331

✉koho@city.otaru.lg.jp

※新聞未購読世帯に無料で配送しますので、ご希望の方はお知らせください。

●広報番組

テレビ○小樽フラッシュニュース(S T V)

毎週土曜日：午前10時25分

ラジオ○小樽市民ニュース(FMおたる/76.3MHz)

月～金曜日：午前9時40分ごろ

土・日曜日：午前9時54分ごろ

○明日へ向かってスクラムトライ！(同)

第1・3月曜日：午後2時

放送翌々日の水曜日：午後7時(再放送)

※FMおたるホームページからも聴くことができます。

●小樽市役所(執務時間：午前9時～午後5時20分)

〒047-8660 小樽市花園2丁目12番1号

☎代表013404111

住民基本台帳人口(令和2年12月31日現在)

■人 口 11万2433人(男5万706人・女6万1727人)
うち外国人682人

■世帯数 6万2565世帯

小樽市役所
ホームページ



●当番病院のご案内

テレホンサービス(録音による案内)

小樽市夜間急病センター☎04618

土曜日：午前7時～午後2時

日曜日、祝日：午前9時～午後6時

※医療相談は行っていません。

※小樽市医師会ホームページでも確認できます。

★防災関係の連絡先

小樽市消防本部 ☎09137

小樽市水道局 ☎08111

小樽警察署 ☎01110

北海道電力(株)小樽支店☎01111

北海道ガス(株)小樽支店☎01511



元気です小樽！
市内にあかりを上げよう
～あかり人大募集～

「小樽雪あかりの路」の本来開催予定であった期間に、「市民と願いのあかりを灯し続けたい……」そんな思いのもと、「ろうそくの無料提供」を行うキャンペーンを実施します。市内商店街や企業、町内会のほか、自宅前などで会場をつくっていただける個人の方にも、文学館・美術館などでろうそくを無料で配布しています（無くなり次第終了）。また、6日(土)～11日(祝)は運河会場、手宮線会場で、有志において簡易的なるろうそくの点灯を行います。

2月6日(土)～14日(日)

手宮線会場

運河会場

天狗山会場



とも
今年も灯る
第23回小樽雪あかりの路

開催期間 2月12日(金)～14日(日)の3日間 午後5時～9時
開催会場 手宮線会場、運河会場、天狗山会場など
◆詳細 小樽雪あかりの路実行委員会事務局（観光振興室内）
☎④1111内線267、FAX⑦8600

※新型コロナウイルス感染症の影響で変更する場合があります。
※ご来場の際は、マスク着用にご協力ください。

今回のイベントコンセプトは原点回帰です。メイン会場をつくらずに、小樽市内一円を会場として開催します。コロナ禍でも「小樽雪あかりの路」だからこそできることがあると考え、自宅前で会場をつくっていただける市民の皆さんを「あかり人」として募り、ろうそくを無料提供いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染対策については、保健所の助言をいただきながら作成した「感染症対策実施マニュアル」に基づき、来場者はもとより、スタッフへの対策にも万全を期してまいります。

今後、状況によっては、直前での中止の判断もあり得ますが、現時点では開催できる想定で準備を進め、冬季の市内活性化の一助となるよう運営してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小樽雪あかりの路実行委員会

今年はおうちでも
雪あかり

Instagram

公式アカウントを開設！会場の実況などをライブ配信します。会場の気分をおうちでも。



YouTube

「小樽雪あかりの路」の公式チャンネルを開設！新たな小樽の冬のイベントの楽しみ方を動画でお伝えします。

PV「雪あかりの路」
これまでの歴史

開催初期から関わったレジェンドなどのインタビュー映像を、プロモーション動画として作成し、YouTubeなどで公開。

コロナに負けるな！
商店街で楽しもうキャンペーン

商店街会場でイベントを実施！
2月6日(土)～14日(日)

キャンペーン期間中は、花園銀座・堺町通り・都通り・都通り梁川各商店街でもろうそくをともし、さまざまなイベントを実施しています。

飲食店周遊「トクトクきっぷプレミアム」
市内飲食店を応援しませんか？
2月5日(金)～21日(日)

参加飲食店の中から好きな3店舗を回ることができる大変お得なチケットを購入できます。

各イベントの詳細については、
公式ガイドブック、または公式ホームページ
をご覧ください。

ガイドブック

2月12日までに朝日・北海道・読売各新聞に折り込まれるほか、市役所、観光案内所、JR駅（小樽駅、南小樽駅、小樽築港駅、銭函駅）、小樽駅前バスターミナルなどで配布します。

ホームページ

<http://yukiakarinomichi.org>
または、「小樽雪あかりの路」で検索



※今年は当日一般ボランティアの募集は行っておりません。

雪とあかりの
オブジェコンテスト

締め切り 2月28日(日)

第1回から行われているコンテスト。イベント期間中に、自宅や町内会、企業などで“雪とあかり”をテーマにつくったスノーオブジェを写真に撮って応募してください。

●応募方法●
配布しているろうそくに同梱されている参加申込書に、作品の写真を貼付し、実行委員会事務局へ持参または郵送してください。



まちなみ散策ツアー

2月12日(金)～14日(日)
午後3時～4時

イベント開始前の時間帯に、「小樽案内人」の資格を持つボランティアガイドが、「小樽雪あかりの路」誕生の経緯などを説明しながら、会場を含めた小樽のまちを案内します。ろうそくをともし作業現場も見ることができます。



▲前回はバックヤードツアーとして139人が参加

愛のフォトコンテスト

締め切り 3月5日(金)

イベント模様や風景、人物などを撮影し、応募するコンテスト。入賞作品は翌年のポスターやポストカードに採用する予定です。

●応募方法●
カラープリントした写真の裏面に、公式ホームページからダウンロードした申込書を貼付し、市内の作品応募店または実行委員会事務局に持参してください。



コロナに負けない未来を！
～「Eternal Snow Wedding」
ご招待プログラム～

2月14日(日) 午後5時ごろ

結婚式を予定しているながら断念したカップルの中から、選考により選ばれたカップル1組の結婚式を行います。



▲前回のデモ実施の様子



市では、小樽港港湾計画の改訂に先立ち、「小樽港長期構想」を昨年12月に策定しました。今回は、その概要についてお知らせします。

「小樽港長期構想」を策定しました

小樽港の目指すべき姿を

示す長期構想

小樽港の開発、利用および保全を行うに当たつての指針となる「港湾計画」は、平成9年の改訂（目標年次は平成10年代後半）から20年以上経過しており、わが国を取り巻く社会、経済情勢や本港の利用状況等が大きく変化し、その計画と現状の港湾利用に乖離が生じています。

このため、港湾計画を改訂することとし、基本的な進め方として、20～30年後の長期的な社会、経済情勢の見通しや地域の将来動向などを考慮した、港湾の発展方向となる「長期構想」を策定し、それをもとに10～15年先を見通した港湾計画を改訂していきます。

北海道日本海側の物流・交流拠点を目指して

長期構想の策定に際しては、

港湾の発展方向は、社会面・経済面等の多岐にわたるとともに、広範囲に影響が及ぶこと、社会、経済情勢の変化に影響されやすいことなどから、市民、学識経験者、港湾利用者などから幅広い意見を聴取し、本港の目指すべき姿についての合意形成を図る必要があります。このため、小樽港長期構想検討委員会を設置し、計4回にわたる委員会での検討を経て策定しました。

この長期構想では、小樽港の役割、課題、強み、検討委員会での意見、港湾利用者からの要請、社会経済情勢、関連計画の七つの視点から、今後の小樽港の目指すべき姿である、将来像と基本理念を掲げました（4ページ下を参照）。

この目指すべき姿を実現させるため、「物流・産業」、「観光・交流」、「安全・安心」の3本の柱からなる「基本目標」を定めました。また、基本目標を達成させるため、小樽港の強みである多様な機能を生かした港湾空間の効率的な利

基本目標と

将来プロジェクト

この目指すべき姿を実現させるため、「物流・産業」、「観光・交流」、「安全・安心」の3本の柱からなる「基本目標」を定めました。また、基本目標を達成させるため、小樽港の強みである多様な機能を生かした港湾空間の効率的な利

用再編や将来に向けての課題を整理し、九つの将来プロジェクトを作成しました（下の囲みを参照）。

それぞれの将来プロジェクトは、動向と将来展望、ポテンシャル、目指すべき姿、実現に向けた課題、施策のイメージを整理し、おおむね10～15年後を目標とした短中期の施策と、20～30年後の将来を目標とした長期の施策で構成しています。

この長期構想の短中期の施策については、港湾計画に反映していくこととし、現在、港湾計画改訂に向け作業を進めています。

今後は、小樽港の将来像として掲げた「ひと・ものが世界と行き交う北海道日本海側の物流・交流拠点 小樽港」を目指し、物流機能の強化や賑わいの創出により、魅力的で活力のある港づくりを進めます。長期構想の詳細は、市ホームページや港湾室で閲覧できます。

◆お問い合わせは、港湾室 港湾整備課 ☎4111 内線467、FAX1109へどうぞ。

小樽港の「基本目標」

「物流・産業」の基盤強化

日本海側の基幹航路をはじめ、対岸貿易における地理的優位性やこれまでの港湾機能集積を生かし、北海道の経済・産業を支える物流拠点としての発展を目指す

「観光・交流」の基盤強化

国内有数の観光都市であるポテンシャルや、クルーズ船をはじめとする多様な船舶が寄港する海のゲートウェイを生かし、国際的な観光・交流拠点としての発展を目指す

「安全・安心」の基盤強化

災害リスクが少ない日本海側に位置する天然の良港である優位性を生かし、道内外被災地への災害支援などの防災拠点としての機能を強化する

「将来プロジェクト」と主な施策

1日本海側フェリー拠点の形成～日本海側の基幹航路として国内の産業・経済を支えるフェリー拠点としての機能強化～		
主な施策	▶フェリーターミナル機能の集約・拡張による効率化【短中期】 ▶耐震強化岸壁の整備【短中期】 ▶新技術や自動化への対応【長期】 等	
2北海道日本海側における穀物基地の形成～北海道の食品産業・畜産業を支える穀物原料輸入基地としての機能強化～		
主な施策	▶大型貨物船に対応する整備【短中・長期】 ▶穀物保管施設の移転・集約による効率化【短中・長期】 等	
3多彩なネットワークで結ばれる対岸貿易拠点の形成～北海道の産業、消費活動を支える対岸諸国との貿易ネットワークの機能強化～		
主な施策	▶コンテナヤードの集約・拡張による効率化【短中期】▶ロシア船集約による効率化、ふ頭拡張【短中期】 等	
4沖合・沿岸漁業を支える水産活動基盤の形成～地元漁船や管外船などの活動を支える水産支援機能の強化～		
主な施策	▶静穏度対策のための防波堤整備【短中期】 ▶衛生管理手法に対応した施設整備【短中期】 等	
5北海道日本海側におけるクルーズ拠点の形成～わが国のインバウンド増大・クルーズ人口拡大に貢献するクルーズ拠点としての機能強化～		
主な施策	▶第3号ふ頭における大型クルーズ船(18万トン級)対応岸壁・旅客船ターミナル等の整備【短中期】 ▶大型クルーズ船(22万トン級)に対応する勝納ふ頭や防波堤の整備【長期】、5隻同時受入への整備【長期】 等	
6北海道のマリンレジャー拠点の形成～北海道のマリンレジャーを牽引するプレジャーボート拠点としての機能強化～		
主な施策	▶プレジャーボート大型化やスーパーヨットに対応するマリナーの機能強化【短中期】 ▶手宮地区の小型船だまりの整備【短中期】 ▶若竹地区のボートパークの導入【短中期】 等	
7観光都市にふさわしい交流空間の形成～海の魅力や歴史を生かした国際観光・交流拠点としての機能強化～		
主な施策	▶『第3号ふ頭及び周辺地区』及び『マリナー・若竹旧貯木場周辺地区』のみなと観光の拠点整備【短中期】 ▶小型シーバス運航による回遊性の向上【短中・長期】 等	
8道央圏日本海側の防災拠点の形成～災害から産業・くらしを守る防災拠点としての機能強化～		
主な施策	▶耐震強化岸壁の整備【短中・長期】 ▶防波堤の整備【短中期】 等	
9円滑な港湾活動を支える安全・安心な港湾空間の形成～物流活動や交流活動を円滑で安全・安心に支える港湾空間の機能強化～		
主な施策	▶港湾施設全般の老朽化対策【短中・長期】 ▶小樽港縦貫線の整備【短中期】 等	





大きくジャンプ！

1月4・5日、総合体育館でトランポリン教室を行い小学生13人が参加しました。小樽体操連盟の方に教わりながら、みんなの「いち、にの、さん」の掛け声に合わせて繰り返しジャンプし、初めてトランポリンに乗った子どもたちも、大きく足を開いたり、膝を抱えたり、いろいろな姿勢で跳べるようになりました。



とし「歳神様」をお見送り

1月7日、市内の多くの神社でどんど焼きが行われました。どんど焼きは、初日の出と共に各家庭の正月飾りなどに宿った「歳神様」を浄化の炎と共に空へ見送ることで、新年の無病息災、家内安全、商売繁盛などを祈願する火祭り行事です。住吉神社にも多くの方が訪れ、燃え盛る火に正月飾りなどを焼納していました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方はお申し出ください。



あんかけに願を掛けて

1月8日、住吉神社で「小樽願掛け焼そば」の祈祷式が行われました。この焼きそばは、通常のあんかけ焼きそばに「勝者(Winner)」にかけたウインナーなどを加えた験担ぎメニューで、今年はさらに、12の参加店が各店独自の免疫力ならぬ「麵疫力」がアップする栄養満点な具材を追加し、2月11日まで提供します。

冬はスキーで歩こう

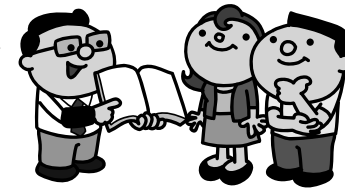
1月8日から3月28日まで、からまつ公園運動場の歩くスキーコースを開放しています。開放初日は雪が降る中、小樽クロスカンリースキークラブの皆さんをはじめ、学生や高齢者など多くの方が今シーズン初めての歩くスキーを楽しんでいました。2月19日から教室を開催します(17ページ参照)。



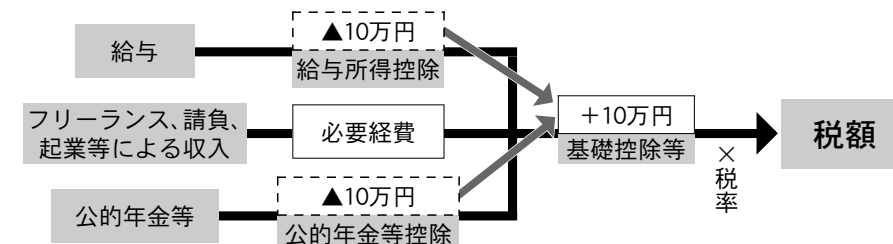
◎給与所得控除・公的年金等控除から基礎控除への振り替え

給与所得控除および公的年金等控除の控除額を一律10万円引き下げ、基礎控除の控除額を10万円引き上げます。この振り替えに伴い、非課税基準および所得控除等の適用に係る合計所得金額の要件が変更されます(下の表を参照)。

※基礎控除は、合計所得金額が2400万円を超えるとその金額に応じ逓減し、2500万円を超えると適用されません。



<振り替えのイメージ図>



<振り替えにより見直される非課税基準・合計所得金額の適用要件>

要件等	改正後	改正前
同一生計配偶者および扶養親族の合計所得金額要件	合計所得金額48万円以下	合計所得金額38万円以下
配偶者特別控除に係る配偶者の合計所得金額要件	合計所得金額48万円超133万円以下	合計所得金額38万円超123万円以下
勤労学生控除の合計所得金額要件	合計所得金額75万円以下	合計所得金額65万円以下
障害者等(※1)に対する非課税措置の合計所得金額要件	合計所得金額135万円以下	合計所得金額125万円以下
均等割の非課税限度額の合計所得金額	32万円×A(※2)+10万円+19万円(※3)	32万円×A(※2)+19万円(※3)
所得割の非課税限度額の総所得金額等	35万円×A(※2)+10万円+32万円(※3)	35万円×A(※2)+32万円(※3)
家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例について、必要経費に算入する金額の最低保障額	55万円	65万円

※1 障害者等：障害者・未成年者・寡婦または未婚のひとり親

※2 A：同一生計配偶者+扶養親族の数+1(本人)

※3 同一生計配偶者または扶養親族を有する場合に加算

◎未婚のひとり親に対する税制上の措置

❶前年の合計所得金額が135万円以下である未婚のひとり親に対し、個人住民税を非課税とする措置が講じられます。

❷未婚のひとり親で、総所得金額等が48万円以下の生計を一にする子を有し、かつ、本人の合計所得金額が500万円以下の場合、総所得金額等から30万円を控除します。

❸従前の寡婦控除についても所得制限が設けられ、合計所得金額が500万円超で、控除適用外となります。また、未婚のひとり親であっても、住民票の続柄に「未届けの夫」「未届けの妻」等と記載されている場合には対象になりません。

※この他の3年度より適用される税制改正の内容については、市民税課までお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

◆詳細 市民税課 ☎ 4111内線242、FAX 5354

市民税 道民税 の改正点についてのお知らせ

税制改正に伴い、基礎控除額等の変更や未婚のひとり親に関する改正などがありましたので、その内容をお知らせします。

未婚のひとり親でも所得控除を受けられるようになりました

